

おうめ 市議会だより

No. 267

令和6年(2024年)5月15日

発行 / 青梅市議会

電話番号 / 0428-22-1111 (代)

主な内容

1月臨時議会、2月定例議会のあらまし	1
市長提出議案の主な内容	1
議会日誌	1
令和6年度一般会計予算の概要	2・3
一般質問	4~7
審議された議案と陳情の議決結果	8
委員会提出議案、議員提出議案	8
全員協議会から、特別委員会から	8
5月招集議会・6月定例議会会議予定	8

令和5年青梅市議会定例会 令和6年1月臨時議会・2月定例議会

令和6年度全会計予算を可決しました

令和6年度一般会計は全員賛成で可決！



◆地域包括支援センターすみえ(第1地区)◆

令和6年4月1日から、第1地区の地域包括支援センターを委託化した。また、第2地区および第3地区については、地域包括支援センターに支所をそれぞれ1か所ずつ設置したほか、全ての窓口において土曜日の相談も可能となった。

令和5年青梅市議会定例会令和6年1月臨時議会が1月15日に開催されました。上程された市長提出議案は、令和5年度の補正予算1件で、原案どおり可決されました。

令和6年2月定例議会は、2月20日から3月25日までの35日間の期間で開催されました。

初日の本会議では、市長の施政方針演説を聴取した後、議案審議が行われました。一般質問は、3月5日、6日および7日の3日間にわたって行われ、20人の議員が登壇し、市政に関して市長、教育長らと活発な議論を交わしました(4~7面に要旨を掲載)。

2月定例議会に上程された市長提出議案は、条例20件、当初予算7件、補正予算9件、人事3件、その他13件の全52件、委員会提出議案が1件、議員提出議案が1件で、いずれも原案どおり可決または同意されました。

また、陳情4件が審議され、趣旨採択1件、不採択3件となりました(8面に掲載)。

市長提出議案の主な内容

《1月臨時議会》

■令和5年度青梅市一般会計補正予算(第8号)

歳入歳出予算にそれぞれ2億6036万3千円を追加し、その総額を620億8872万1千円とする。

▽物価高騰対策低所得者支援事業(物価高騰対策低所得者支援給付金・物価高騰対策子育て世帯支援給付金)

《2月定例議会》

■令和6年度青梅市一般会計予算(2・3面へ)

■令和5年度青梅市一般会計補正予算(第9・10号)

歳入歳出予算にそれぞれ18億3604万1千円を追加し、その総額を639億2476万2千円とするほか、繰越明許費を10件追加1件変更、債務負担行為を1件追加、3件変更、3件廃止、市債を6件追加、1件変更する。

【主なもの】

▽国の補正予算による補助事業採択にもとづき、令和6年度事業実施の前倒し(学校施設整備経費)

■令和6年度青梅市一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算にそれぞれ7685万5千円を追加し、その総額を588億7685万5千円とする。

【主なもの】

▽学校給食費の無償化(財源更正)

▽保育所等の3歳児クラス以上の市内在住児童の副食費の一部補助

■青梅市災害対策基金条例の一部を改正する条例(施行日11公布の日)

青梅市災害対策基金を効率的に運用し、青梅市内で発生する災害に備えるために、毎年度積立てができるように改めるほか、所要の規定の整備を行う。

■青梅市国民健康保険条例の一部を改正する条例(施行日11令和6年4月1日)

青梅市国民健康保険事業における財政の安定化を図るため、国民健康保険税の税率等を改める。

■青梅市介護保険条例の一部を改正する条例(施行日11令和6年4月1日)

介護保険法施行令の一部改正に伴い、令和6年度から令和8年度までの介護保険料率を改める。

■青梅市子どもまんなか応援基金条例(施行日11公布の日)

全ての子どもが誰一人取り残されることなく、将来への希望を持って健やかに育っていく地域社会の実現を目指す「子どもがまんなかのまちづくり」に寄与する事業に必要な資金に充てるため、青梅市子どもまんなか応援基金を設置する。

■青梅市市税条例の一部を改正する条例(施行日11公布の日)

地方税法の一部を改正する法律の施行に伴い、令和6年能登半島地震災害の被災者の負担軽減を図るため、個人市市民税にかかる特別措置に關し必要な事項を定める。

議会日誌

〔1月〕

1月臨時議会

議会期間 1月15日(1日間)

15日 本会議(開議、会議録署名議員の指名、議会期間の宣告、諸報告、議案審議、閉議)

16日 議案審査委員会

2月定例議会

議会期間 2月20日、3月25日(35日間)

20日 本会議(開議、会議録署名議員の指名、議会期間の宣告、諸報告、市長施政方針演説、議案審議、陳情審議)

27日 環境建設委員会

27日 環境建設委員会

29日 福祉文教委員会

〔3月〕

1日 総務企画委員会

4日 福祉文教委員会

5日 総務企画委員会

6日 福祉文教委員会

12日 本会議(一般質問)

12日 本会議(一般質問)

14日 本会議(諸報告、委員会提案審査報告、議案審議)

15日 本会議(諸報告、委員会提案審査報告、議案審議)

18日 本会議(諸報告、委員会提案審査報告、議案審議)

25日 本会議(諸報告、委員会提案審査報告、議案審議)

予算

588億円

— 前年度比 8.1% 44 億円の増 —



*** 一般会計予算の概要 ***

令和6年度予算は、「第7次青梅市総合長期計画」に掲げる将来像「美しい山と溪谷に抱かれ、東京に暮らす 青梅」ならびに3つの基本理念「豊かな自然と都市機能が調和した持続可能なまち」、「多様性を認め合い、みんなが健やかに暮らせるまち」、「歴史と文化を継承し、人も産業も育むまち」の実現に向けて、「総合長期計画の推進」「重点事業への取組」「持続可能な行財政運営の確立」の3項目を基本方針として編成されている。

歳入歳出予算の総額は588億円となり、これは前年度に比べ44億円、8.1%の増となっている。

歳入の根幹をなす市税は、前年度比3.4%の減で195億6,475万7千円。地方消費税交付金は、前年度比2.1%増の33億9,298万円。地方交付税は、5.6%増の50億6,000万1千円。国庫支出金は、11.3%増の112億7,205万1千円。都支出金は、10.2%

増の86億1,219万4千円。諸収入は、30.3%減の26億6,241万円。市債は、前年度比340%増の24億3,740万円となっている。

歳出を性質別に見ると、消費的経費は、前年度比20億6,331万8千円、4.9%増の444億5,773万2千円。このうち、物件費は、地域包括支援センター事業経費の増などにより、1億8,878万1千円、2%の増。扶助費は、自立支援給付経費の増などにより、11億2,415万6千円、6%の増。投資的経費は、前年度比26億4,141万5千円、106.7%増の51億1,791万5千円となっている。主な要因は、青梅駅前地区市街地再開発事業経費と新学校給食センター経費の増である。なお、特別会計への繰出金の総額は、前年度比2,230万9千円、0.4%増の55億4,399万5千円となっている。

議案第89号令和6年度青梅市一般会計予算は、議長を除く全議員で構成する予算決算委員会（久保富弘委員長、片谷洋夫副委員長）に付託され、3月13日、15日および18日の4日間にわたって審査が行われた。審査は、担当部から補足説明を受けた後、まず歳出について質疑に入り、続いて歳入についての質疑および結算質疑を行った後、採決した結果、全員賛成で可決すべきものと決しました。その後、本予算議案は、3月25日の定例議会最終日の本会議において賛成討論が行われた後、採決し全員賛成で可決されました。

予算決算委員会 での主な質疑

歳 出

議会費・総務費・消防費

テレワークの推進

概要について伺う。

答 テレワーク用の端末を100台加え、130台にする。現在は試行的な運用であるが、令和6年度には業務を精査し、制度設計に取り組んでいく。各所属長は、チャットツール、メール等のやり取りで職員との意思疎通を図りながら業務の指示等を行い、必要に応じて成果物の確認を行う。

マイナンバーを利用した タクシー運賃補助事業

概要および経費について伺う。

答 マイナンバーで登録した方がタクシーを利用する際、乗車人数に応じて運賃の一部を市が支援する制度である。先進的に実施している前橋市の事例を参考に、補助額の上限や対象年齢等の詳細を決めていく。令和6年度は、試行的に実施する経費も一部含んでいるが、システム構築に係る経費が主なものとなっている。

避難施設への Wi-Fi環境整備

概要および経費について伺う。

民生費・衛生費

地域福祉

コーディネーター業務委託

実施状況と委託先について伺う。

答 地域福祉コーディネーターは、現在は社会福祉協議会へ委託し3人配置しているが、令和6年度中には、市民センター11か所へ配置する予定である。委託先については、社会福祉協議会と協議をしているが、全市民センターへの配置が難しいとの話も聞いているため、他の社会福祉法人にも委託することが出来るか検討を進めている。

がん患者医療用 補具購入費助成金

概要および周知について伺う。

答 医療用ウィッグや毛つき帽子、人工乳房、補整下着、弾性着衣等を助成対象とし、1回の上限2万円、生涯2回までとして検討している。広報やSNSの活用に加え、総合医療センターのがん支援窓口等と協力しながら広く周知していく。

創エネルギ 住宅改修補助金

概要について伺う。

答 再生可能エネルギーの普及拡大や省エネルギ推進策として、自己所有の既存住宅に太陽光パネルおよび蓄電池の普及拡大を図るため災害対策としても活用

できる太陽光発電および蓄電池システムを設置することに対して補助を行うものである。

労働費・農林水産業費 商工費・土木費・災害復旧費

概要調査とはどのようなことをするのか伺う。

答 次期の農業振興計画の素案を作成するための委託料で、現在の計画の検証、青梅市農業の現状把握、農業振興に関する農家の意向調査や市民の意識調査、農業関係団体とのヒアリングを実施する予定である。

都市公園施設整備

整備経費の増額理由を伺う。

答 主な増額理由は、鮎美橋の構造改修および塗装塗替え工事の着手を予定しているためである。鮎美橋の工事については、令和4年度に点検を実施し破損箇所等を確認、5年度には工事の設計委託を実施し、6年度から工事に着手する。

教育費

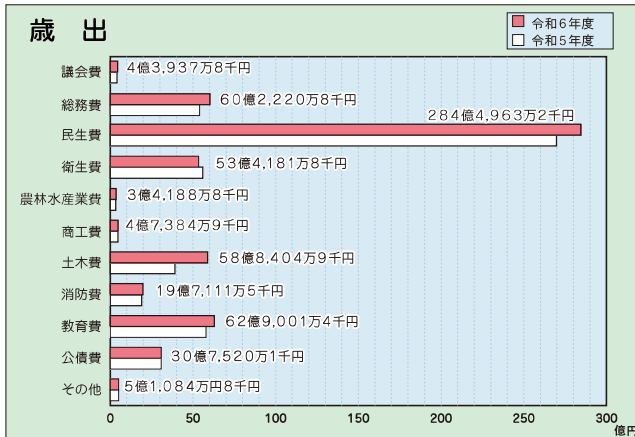
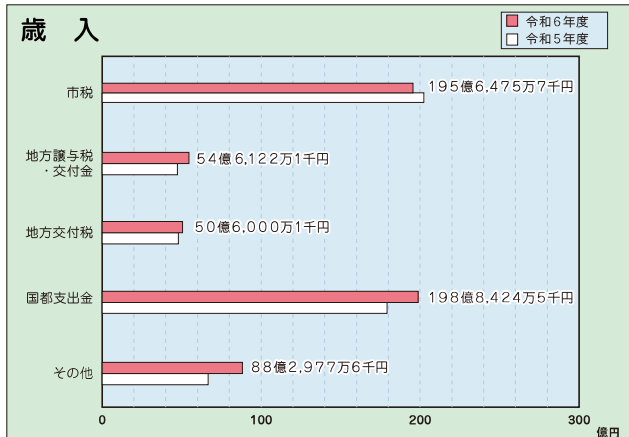
概要について伺う。

答 小学校1年生から3年生を対象とした副担任のような業務で、家庭との連絡文書作成の補助、登下校の見守り、学習や生活指導の補助などを行う。12校に1名ずつ配置するが、第三小学校のみ2名を配置する。

民間施設事業費補助金

概要について伺う。

答 事業概要を伺う。事業費の補助を1団体に50万円を上限に行うもの



令和6年度 一般会計

◆ 財政の指標

○ 経常収支比率 101.7% (97.3%)

80%を超えないことが望ましいとされている。

○ 実質公債費比率 2.4% (2.3%)

低いほど財政状態が健全なことを意味し、一定の率を超えるると起債発行において制約を受けることになる。

○ 財政力指数 0.785 (0.785)

1を超えるほど財源に余裕がある。

○ 市民1人当たり

予算額 45万5,186円(41万8,726円)

市税 15万1,456円(15万5,939円)

※ 令和6年4月1日現在

※ () 内は前年度数値

◆ 各会計の予算額

※ () 内は前年度比伸び率

区 分		予 算 額	
一 般 会 計		588億円	(8.1%)
特 別 会 計	国民健康保険	139億7,300万円	(△4.8%)
	後期高齢者医療	40億7,410万3,000円	(5.0%)
	介護保険	111億8,617万9,000円	(△0.9%)
	計	292億3,328万2,000円	(△2.0%)
下水道事業会計	収 益	39億9,251万1,000円	(0.1%)
	資 本 (支 出)	25億6,311万6,000円	(1.5%)
	小 計	65億5,562万7,000円	(0.7%)
モーターボート競走事業会計	収 益	787億4,520万4,000円	(△6.2%)
	資 本 (支 出)	2億7,881万7,000円	(833.5%)
	小 計	790億2,402万1,000円	(△5.9%)
病院事業会計	収 益 (支 出)	210億0,537万2,000円	(8.4%)
	資 本 (支 出)	68億2,098万2,000円	(△43.7%)
	小 計	278億2,635万4,000円	(△11.6%)
合 計		2,014億3,928万4,000円	(△2.3%)

歳入

である。市内のフリースクールへの視察を複数回実施し、事業者から運営の現状などの聞き取りを行い、家賃等が大きな負担となつてゐるとの意見があつたことから検討したものである。

学校給食費無償化問 無償化となる学校給食費の令和6年度の総額と未納分の扱いを伺う。

答 令和6年度は3億917万3350円と見込んでゐる。未納分については、払わなくてよいわけではなく、引き続き電話催告や臨戸訪問、弁護士法人への委託等を行い、しっかりと対応していく。

総括質疑

令和6年度予算の総括を問 市長はこの令和6年度予算をどう総括されているか伺う。

答 令和6年度予算は、私が市長として、初めて取り組んだ当初予算であり第7次総合長期計画の掲げる将来像「美しい山と溪谷に抱かれ、東京に暮らす 青梅」の実現に向け、各施策分野に必要な予算措置を行った。「少子化対策と子育て」への充実に向けたまちづくりへの取り組みでは、産前産後における家事、育児への負担軽減を図るため育児支援ヘルパー事業を拡充するほか、妊婦歯科健診を集団健診から個別健診に変更する。また、認定こども園の開設に向けた建て替えなどを支援し、保育環境

の整備を図っていく。学校教育等の分野では、3月補正予算で計上した校舎の屋上防水、外壁改修やLED化などの施設改善を行うほか、新たに、ポーターブル型AEDを各小中学校に配備し、児童・生徒等の安全対策を図ることとした。また、新学校給食センターの建設工事に着手し、本市のゼロカーボンシティ宣言後、初のZEB認証施設として整備を図っていく。当初予算の計上はできなかったが、こどもまんなか応援基金を活用し、学校給食費の無償化や保育施設等副食費の一部助成など、こども施策の充実を図っていく。

「地域共生社会への具現化に向けたまちづくり」では介護や障がい、子どもなどの属性を問わない相談を受け、必要な支援へつなげる地域福祉コーディネーターを市内の11か所に配置し、相談体制の拡充を図る。現に向けたまちづくり」では、既存住宅を対象に、高断熱窓への改修に対する助成を引き続き行うとともに、太陽光発電設備や蓄電池の設置に助成し、2050年カーボンニュートラルの実現に向け取り組んでいく。「地域社会や地域経済の活性化に向けたまちづくり」の公共交通では、引き続きグリーンスローモビリティの実証運行を行い、課題を整理するとともに、マイナンバーカードを活用したタクシの運賃補助についての実証運行し、市民の移動手段の確保に向け、取り組み。また、都市基盤整備の面では、青梅駅前地区市街地再開発事業の建設工事

について引き続き支援をしていく。今井土地区画整理事業は、事業をしっかりと支援するとともに、都市計画道路の整備に申し負担していく。「地域振興と移住定住の好循環に向けたまちづくり」の移住・定住策である移住・定住促進プランは最終年度となり、今までの取組を図ってきたい。商業振興では、おうちひとづくり支援事業補助金にDX人材育成メニューを追加し、地域のDXを促進していく。また、予算編成期間に能登半島地震が発生し、多くの人命が失われ、家屋の損壊、ライフラインの機能不全などを目的とした。気候変動による局地的な豪雨も、毎年、全国で発生しているため、防災・減災対策にも力点を置き、予算措置したところである。

である市税収入の市民税が、定額減税や東日本大震災に伴う均等割額の臨時的措置が令和5年度までであつたことなどにより減収となり、法人市民税も、一部企業の収益動向から減収となる。市税全体では6億9千万円の減額となった。195億6千万円と見込んだ。また、モーターボート競走事業では、令和6年度は、高グレード競走のSGポーターレスオールスターが開催され、通常競走の売り上げも堅調に推移している。一般会計への繰出額は、病院事業会計へ10億円を繰出すこととしたため、前年度から11億円の減の18億円とした。

歳出では、義務的経費の人員費が、会計年度任用職員の勤労手当などにより、6億円余の増、扶助費も、自立支援給付費などの増により、11億円余の増となった。また、今後の市の発展のため、青梅駅前地区市街地再開発事業への支援や新学校給食センター建設工事などの整備のほか、防災・減災のための矢張り今井2丁目調節池整備工事などを計上し、投資的経費も、前年度から約2倍の大幅な増額とした。

* * 令和6年度の主な施策 * *

○総務費

- ・AI自動音声ガイダンスの導入
- ・マイナンバーカードを活用したタクシー運賃補助事業
- ・市民センター施設の整備

○民生費

- ・地域福祉コーディネーターの増員等
- ・地域包括支援センターの充実
- ・民間保育施設費補助金

○衛生費

- ・妊婦歯科健康診査の個別健診化
- ・住宅改修費助成（高断熱窓改修、太陽光発電・蓄電池の設置）
- ・資源回収事業協力助成金の拡充

○農林水産業費、商工費

- ・農業振興計画概況調査
- ・地域計画（地域農業経営基盤強化促進計画）の策定
- ・おうちひとづくり支援事業補助金

○土木費

- ・鮎美橋構造改修・塗装塗替え工事（3年事業1年目）
- ・今井土地区画整理事業都市計画道路工事業費負担金
- ・青梅駅前地区市街地再開発事業補助金

○消防費

- ・避難施設へのWi-Fi環境整備
- ・消防自動車の更新（9台）

○教育費

- ・エデュケーション・アシスタントの配置
- ・新学校給食センター建設事業（3年事業1年目）
- ・多様な他者との関わりの機会の創出事業補助金
- ・エクストリームスポーツ施設の整備

一般質問

青梅市議会ホームページの議会映像配信にて一般質問のすべての内容を映像で視聴いただけます。



明星大学青梅キャンパスについて問う

久保 富弘 議員 (自民)



議員 ①日本航空学園が、出でいたく事になった経緯は、

②青梅市に来る学部や生徒、講師の人数は、

③通学通学の有無は、

④今後の第7次総合長期計画の位置づけについて伺う。

⑤日本航空学園との連携・協力体制について伺う。

市長 ①能登半島地震により、校舎・寮等の被害も大きく、学生の安全と、より良い環境で学習でき、ことを第一に検討を重ねた結果と聞いている。

②高校生約600人、大学生約270人、教員等関係者約100人とのことである。

③高校生は敷地内に寮を仮設し、大学生や教員等は通学、通動と聞いている。

④現時点では変更や見直しの予定はない。今後の状況により見直しを考える。

⑤新たなパートナーとして、大いに期待している。

ナラ枯れ樹木伐採に係る補助制度等について問う

議員 ①補助制度の概要は、

②補助の申請の流しは、

③市民への周知の時期や方法は、

④伐採業者は市内業者限定か、

⑤令和5年度の市有林の防除対策や都からの補助金の活用は、

⑥予防の補助の検討は、

市長 ①ナラ枯れによる危険木を伐採する所有者に対し、費用の2分の1以内を補助する制度である。限度額20万円、同年度の申請は1人1回までである。

②事前に補助対象かを判定し、補助対象の場合は、伐採経路の契約や費用を支払いは、所有者が行っていただく予定である。

③令和6年4月以降に、ホームページ、広報、行政メール、LINE等により周知する。

議員名の()内の表示は、会派名または党派名です。
(自 民) … 自民クラブ
(公 明) … 公明党
(フオーラム) … 市民フォーラム青梅・都民ファーストの会
(緑 新) … 日本共産党青梅市議団
(立 憲) … 立憲民主党

住宅改修の診断や改修件数は、

③耐震化が進まない課題は、旧耐震基準の対策住宅へ訪問できないか。

④新耐震基準の住宅にも助成が必要と思うが市の考えは、

市長 ①令和3年度2320件、4年度1918件、5年度1892件である。問い合わせは、送付前には月に数件で送付後は約20件程度に増加。内容は、主に費用や補助金の手続きである。住宅の耐震診断、改修補助の件数は令和3年度改修9件、改修7件、4年度は改修9件、改修4件、5年度12月末で、診断3件、改修2件。

②費用負担が大きいため、所有者の高齢化などといえ、個別訪問は、耐震化推進の手法のひとつとして、検討する。

③重要と認識しており、国等の動向を踏まえ、計画等を見直し、より効果的な施策に取組む。

④先進自治体の補助実績等を確認し、効果のある予防策に対する補助制度の拡充を研究する。

地震から命を守る住宅耐震化の取組について問う

湖城 宣子 議員 (公明)

議員 ①旧耐震基準の対策住宅へのダイレクトメール発送件数、耐震化の問い合わせ件数や内容

②市内には一人一人に合った補聴器の調整ができる認定補聴器

③技能者が少ないことなどである。

④助成制度の導入を進めたい。

⑤単身高齢者等の終活の支援について問う

議員 ①単身高齢者や高齢者のみ世帯を把握しているか、今後どのような支援を行っているか伺う。

②入院時の保証人や、亡くなった時の手続き等、終活に向けての具体的な施策は、

③東京都は新たな終活を支援する自治体に対して補助を行うが市の考えは、総合相談窓口の配置は可能か。

市長 ①全ての単身高齢者等を把握しているわけではないが、本人や家族、民生委員から相談のあった高齢者に対して、必要な支援を行っている。次年度から地域包括支援センターの体制を強化し、相談しやすい体制づくりを推進していく。

②緊急連絡先の把握を行い、必要に応じ民生委員と連携し支援を行っているほか、身寄りのない高齢者には、成年後見制度などの情報提供を行っている。市民向けに終活の講演会やエンディングノートの配布を行っており、多世代に向けての普及啓発を推進していく。

③終活の支援は大変重要なものと認識しており、相談支援の充実を図るとともに、総合相談窓口も含めて引き続き情報収集に努め、都の動向を注視していく。

④認知症予防施策について問う

⑤認知症の予防策について問う

⑥認知症の予防策について問う

⑦認知症の予防策について問う

⑧認知症の予防策について問う

⑨認知症の予防策について問う

⑩認知症の予防策について問う

⑪認知症の予防策について問う

⑫認知症の予防策について問う

⑬認知症の予防策について問う

⑭認知症の予防策について問う

⑮認知症の予防策について問う

⑯認知症の予防策について問う

⑰認知症の予防策について問う

⑱認知症の予防策について問う

⑲認知症の予防策について問う

⑳認知症の予防策について問う

㉑認知症の予防策について問う

㉒認知症の予防策について問う

㉓認知症の予防策について問う

㉔認知症の予防策について問う

㉕認知症の予防策について問う

㉖認知症の予防策について問う

㉗認知症の予防策について問う

㉘認知症の予防策について問う

㉙認知症の予防策について問う

㉚認知症の予防策について問う

㉛認知症の予防策について問う

㉜認知症の予防策について問う

㉝認知症の予防策について問う

市 ①令和6年度予算で12億円の財政調整基金の取り崩しを計上する旨や意図は、

②令和7年度以降の見直しや方向性について市長の考えは、

③青梅市の基金の現預金と有価証券の運用比率は、運用方針はどのように決められたのか。

④各種基金を国債や地方債などへの投資比率を高め、効率的な運用収益の向上を図るべきと思うが市長の見解は、

市長 ①市民サービスの維持や向上を図るため、財政調整基金を取り崩す財源不足に対応

②厳しい予算編成が予想され、財政調整基金の活用も考えられるが、歳出は該年度の歳入によって賄うことが重要と考え、財源に余力が出た場合には、財政調整基金の積立を行う。将来の財源不足に備えることも必要と捉えている。

③全て金融機関への預金である。運用方針は、基金条例等にもとづき、管理運用を行っている。市債の購入を予定しており、市の自主財源確保に大いに有効と認識している。安全性、流動性に十分配慮しながら、国債等による基金運用にも積極的

市 ①令和6年度予算で12億円の財政調整基金の取り崩しを計上する旨や意図は、

②令和7年度以降の見直しや方向性について市長の考えは、

③青梅市の基金の現預金と有価証券の運用比率は、運用方針はどのように決められたのか。

④各種基金を国債や地方債などへの投資比率を高め、効率的な運用収益の向上を図るべきと思うが市長の見解は、

市長 ①市民サービスの維持や向上を図るため、財政調整基金を取り崩す財源不足に対応

②厳しい予算編成が予想され、財政調整基金の活用も考えられるが、歳出は該年度の歳入によって賄うことが重要と考え、財源に余力が出た場合には、財政調整基金の積立を行う。将来の財源不足に備えることも必要と捉えている。

③全て金融機関への預金である。運用方針は、基金条例等にもとづき、管理運用を行っている。市債の購入を予定しており、市の自主財源確保に大いに有効と認識している。安全性、流動性に十分配慮しながら、国債等による基金運用にも積極的

市 ①令和6年度予算で12億円の財政調整基金の取り崩しを計上する旨や意図は、

②令和7年度以降の見直しや方向性について市長の考えは、

③青梅市の基金の現預金と有価証券の運用比率は、運用方針はどのように決められたのか。

④各種基金を国債や地方債などへの投資比率を高め、効率的な運用収益の向上を図るべきと思うが市長の見解は、

市長 ①市民サービスの維持や向上を図るため、財政調整基金を取り崩す財源不足に対応

②厳しい予算編成が予想され、財政調整基金の活用も考えられるが、歳出は該年度の歳入によって賄うことが重要と考え、財源に余力が出た場合には、財政調整基金の積立を行う。将来の財源不足に備えることも必要と捉えている。

③全て金融機関への預金である。運用方針は、基金条例等にもとづき、管理運用を行っている。市債の購入を予定しており、市の自主財源確保に大いに有効と認識している。安全性、流動性に十分配慮しながら、国債等による基金運用にも積極的

市 ①令和6年度予算で12億円の財政調整基金の取り崩しを計上する旨や意図は、

②令和7年度以降の見直しや方向性について市長の考えは、

③青梅市の基金の現預金と有価証券の運用比率は、運用方針はどのように決められたのか。

④各種基金を国債や地方債などへの投資比率を高め、効率的な運用収益の向上を図るべきと思うが市長の見解は、

市長 ①市民サービスの維持や向上を図るため、財政調整基金を取り崩す財源不足に対応

②厳しい予算編成が予想され、財政調整基金の活用も考えられるが、歳出は該年度の歳入によって賄うことが重要と考え、財源に余力が出た場合には、財政調整基金の積立を行う。将来の財源不足に備えることも必要と捉えている。

③全て金融機関への預金である。運用方針は、基金条例等にもとづき、管理運用を行っている。市債の購入を予定しており、市の自主財源確保に大いに有効と認識している。安全性、流動性に十分配慮しながら、国債等による基金運用にも積極的

市 ①令和6年度予算で12億円の財政調整基金の取り崩しを計上する旨や意図は、

②令和7年度以降の見直しや方向性について市長の考えは、

市 ①令和6年度予算で12億円の財政調整基金の取り崩しを計上する旨や意図は、

②令和7年度以降の見直しや方向性について市長の考えは、

③青梅市の基金の現預金と有価証券の運用比率は、運用方針はどのように決められたのか。

④各種基金を国債や地方債などへの投資比率を高め、効率的な運用収益の向上を図るべきと思うが市長の見解は、

市長 ①市民サービスの維持や向上を図るため、財政調整基金を取り崩す財源不足に対応

②厳しい予算編成が予想され、財政調整基金の活用も考えられるが、歳出は該年度の歳入によって賄うことが重要と考え、財源に余力が出た場合には、財政調整基金の積立を行う。将来の財源不足に備えることも必要と捉えている。

③全て金融機関への預金である。運用方針は、基金条例等にもとづき、管理運用を行っている。市債の購入を予定しており、市の自主財源確保に大いに有効と認識している。安全性、流動性に十分配慮しながら、国債等による基金運用にも積極的

市 ①令和6年度予算で12億円の財政調整基金の取り崩しを計上する旨や意図は、

②令和7年度以降の見直しや方向性について市長の考えは、

③青梅市の基金の現預金と有価証券の運用比率は、運用方針はどのように決められたのか。

④各種基金を国債や地方債などへの投資比率を高め、効率的な運用収益の向上を図るべきと思うが市長の見解は、

市長 ①市民サービスの維持や向上を図るため、財政調整基金を取り崩す財源不足に対応

②厳しい予算編成が予想され、財政調整基金の活用も考えられるが、歳出は該年度の歳入によって賄うことが重要と考え、財源に余力が出た場合には、財政調整基金の積立を行う。将来の財源不足に備えることも必要と捉えている。

③全て金融機関への預金である。運用方針は、基金条例等にもとづき、管理運用を行っている。市債の購入を予定しており、市の自主財源確保に大いに有効と認識している。安全性、流動性に十分配慮しながら、国債等による基金運用にも積極的

市 ①令和6年度予算で12億円の財政調整基金の取り崩しを計上する旨や意図は、

②令和7年度以降の見直しや方向性について市長の考えは、

③青梅市の基金の現預金と有価証券の運用比率は、運用方針はどのように決められたのか。

④各種基金を国債や地方債などへの投資比率を高め、効率的な運用収益の向上を図るべきと思うが市長の見解は、

市長 ①市民サービスの維持や向上を図るため、財政調整基金を取り崩す財源不足に対応

②厳しい予算編成が予想され、財政調整基金の活用も考えられるが、歳出は該年度の歳入によって賄うことが重要と考え、財源に余力が出た場合には、財政調整基金の積立を行う。将来の財源不足に備えることも必要と捉えている。

③全て金融機関への預金である。運用方針は、基金条例等にもとづき、管理運用を行っている。市債の購入を予定しており、市の自主財源確保に大いに有効と認識している。安全性、流動性に十分配慮しながら、国債等による基金運用にも積極的

市 ①令和6年度予算で12億円の財政調整基金の取り崩しを計上する旨や意図は、

②令和7年度以降の見直しや方向性について市長の考えは、

③青梅市の基金の現預金と有価証券の運用比率は、運用方針はどのように決められたのか。

④各種基金を国債や地方債などへの投資比率を高め、効率的な運用収益の向上を図るべきと思うが市長の見解は、

市長 ①市民サービスの維持や向上を図るため、財政調整基金を取り崩す財源不足に対応

②厳しい予算編成が予想され、財政調整基金の活用も考えられるが、歳出は該年度の歳入によって賄うことが重要と考え、財源に余力が出た場合には、財政調整基金の積立を行う。将来の財源不足に備えることも必要と捉えている。

③全て金融機関への預金である。運用方針は、基金条例等にもとづき、管理運用を行っている。市債の購入を予定しており、市の自主財源確保に大いに有効と認識している。安全性、流動性に十分配慮しながら、国債等による基金運用にも積極的

市 ①令和6年度予算で12億円の財政調整基金の取り崩しを計上する旨や意図は、

②令和7年度以降の見直しや方向性について市長の考えは、

青梅市公共施設等総合管理計画の実効性について問う



山田 敏夫 議員
(自民)

議員 ①公共施設等総合管理計画に位置づけられている公共施設数1年間の維持管理経費および事業の進捗状況については、

②40年の計画期間の根拠と人口変化が青梅市の将来へ与える影響については、

③青梅市公共施設等総合管理計画の実効性をどのように高めていくが市長の見解は、

市長 ①令和4年度末時点、学校施設、市民センター等311施設あり、年平均約44億円の維持管理経費を見込んでいる。進捗状況は、市民会館、釜の淵市民館等を廃止し、文化交流センターに統合するなど床面積約1・84%の削減となっている。

②策定当時の総務省の指針に、出来る限り長期間と示されており設定したものである。想定より人口減少が進むことも考えられるため、更なる公共施設の統廃合、適正配置を進めなければならぬことも危惧している。

③引き続き、各種公共施設の統廃合、縮充を進め、また、学校施設のあり方審議会の議論も踏まえ、小・中学校施設と市民センター等の再編などにも取り組む計画の実効性を高めていく。

議員 ①旧青梅市教育センター、旧上成木および旧北倉木ふれあいセンターの総合管理計画上の位置づけについて伺う。

②3施設の今後の方向性は、市長 ③施設は、現行の総合管理計画において、既に用途廃止施設として扱っている。

④施設は、文化複合施設の建設用地として活用していく。旧上成木および旧北倉木ふれあいセンターは災害時の活用や平時の管理方法などについて、地域の方々と話し合いの場を設けていきたいと考えている。

成木小学校通学バスの運用等について問う

議員 ①成木小通学バス導入の経緯と、成木小と第七中の小規模特別認定校制度を利用し通学する児童、生徒の人数は、

②通学バスの乗車可能人数、運行経路と便数、成木小学校における利用人数について伺う。

議員 ①成木小通学バス導入の経緯と、成木小と第七中の小規模特別認定校制度を利用し通学する児童、生徒の人数は、

②通学バスの乗車可能人数、運行経路と便数、成木小学校における利用人数について伺う。

議員 ①成木小通学バス導入の経緯と、成木小と第七中の小規模特別認定校制度を利用し通学する児童、生徒の人数は、

②通学バスの乗車可能人数、運行経路と便数、成木小学校における利用人数について伺う。

議員 ①成木小通学バス導入の経緯と、成木小と第七中の小規模特別認定校制度を利用し通学する児童、生徒の人数は、

②通学バスの乗車可能人数、運行経路と便数、成木小学校における利用人数について伺う。

議員 ①成木小通学バス導入の経緯と、成木小と第七中の小規模特別認定校制度を利用し通学する児童、生徒の人数は、

防災の課題と減災の推進について問う

議員 ①能登半島地震の被災地への青梅市からの支援は、

②大規模地震が発生した際の青梅市の課題と対策を伺う。

議員 ①能登半島地震の被災地への青梅市からの支援は、

②大規模地震が発生した際の青梅市の課題と対策を伺う。

議員 ①能登半島地震の被災地への青梅市からの支援は、

②大規模地震が発生した際の青梅市の課題と対策を伺う。

議員 ①能登半島地震の被災地への青梅市からの支援は、

②大規模地震が発生した際の青梅市の課題と対策を伺う。

議員 ①能登半島地震の被災地への青梅市からの支援は、

生活支援体制整備事業の推進と重層的支援体制整備事業について問う

議員 ①第一層協議体と第二層協議体との連携を強化すべきと考えるが、

②重層的支援体制整備事業の概要は、

③生活支援体制整備事業の対象を子どもや障害を持つ方に広げることが地域の活性化に繋がっていくと思うがどうか。

市長 ①第一層および第二層生活支援コーディネーターは、連絡会等により連携を密にしているが、

②生活支援体制整備事業の対象を子どもや障害を持つ方に広げることが地域の活性化に繋がっていくと思うがどうか。

市長 ①第一層および第二層生活支援コーディネーターは、連絡会等により連携を密にしているが、

②生活支援体制整備事業の対象を子どもや障害を持つ方に広げることが地域の活性化に繋がっていくと思うがどうか。

市長 ①第一層および第二層生活支援コーディネーターは、連絡会等により連携を密にしているが、

②生活支援体制整備事業の対象を子どもや障害を持つ方に広げることが地域の活性化に繋がっていくと思うがどうか。

人口減対策と子育てしやすい環境づくりについて問う



中野 芳則 議員
(自民)

議員 ①青梅市移住・定住促進プランの進捗状況は、

②子育てしやすい環境づくりの推進について市長の考えを伺う。

市長 ①令和5年度は移住希望者を呼び込むための補助事業の構築を中心に取り組んだ。最終年度の令和6年度は、事業利用を促すとともに、実績などを踏まえ次期プランの検討を行う。

②子育てしやすい環境づくりの推進について市長の考えを伺う。

議員 ①青梅市移住・定住促進プランの進捗状況は、

②子育てしやすい環境づくりの推進について市長の考えを伺う。

インクルーシブなまちづくりについて問う

議員 ①インクルーシブなまちづくりへの取り組みを伺う。

②インクルーシブなまちづくりへの取り組みを伺う。

議員 ①インクルーシブなまちづくりへの取り組みを伺う。

②インクルーシブなまちづくりへの取り組みを伺う。

議員 ①インクルーシブなまちづくりへの取り組みを伺う。

②インクルーシブなまちづくりへの取り組みを伺う。

キャッシュレス決済の取組について問う

議員 ①市のキャッシュレス決済の取組を伺う。

②キャッシュレス決済の取組を伺う。

議員 ①市のキャッシュレス決済の取組を伺う。

②キャッシュレス決済の取組を伺う。

議員 ①市のキャッシュレス決済の取組を伺う。

②キャッシュレス決済の取組を伺う。

自治会活動と加入率について問う



山崎 哲男 議員
(自民)

議員 ①自治会加入率の状況は、高齢者退会の現状は、

②自治会加入率の状況は、高齢者退会の現状は、

エクストリームスポーツの普及と発展について問う

議員 ①エクストリームスポーツの普及と発展に関し、市が行ってきた経緯を伺う。

②エクストリームスポーツの普及と発展に関し、市が行ってきた経緯を伺う。

地域防災力の強化に向けて

議員 ①消防団員数、地区防災組織の現状と課題は、

②消防団員数、地区防災組織の現状と課題は、



議員 ①消防団員数、地区防災組織の現状と課題は、

②消防団員数、地区防災組織の現状と課題は、

コミュニティバスなどの 公共交通について問う みねざき 拓実 議員 (共進)



議員 ①人間市のコミュニティバスが青梅市内の一部を走っていることや、青梅市民の足の確保に努めていることについてどのように考えるか。コミュニティバスの定員や車種などの車両について、市の認識は。いくつかの地区での取り組みを同時に実施する必要があるか。交通政策課の体制強化は。②今年度の実証実験で使用する車両のタイプや時期などについて。運賃を徴収し利用者が減っても、本格実施を断念してはならないか。③バス事業者の考えを把握すべきでは。物流・運送業界の2024年問題について。④入間市に対し、停留所の用地として市有地を無償提供し、広域連携を図っている。様々な種別があるものと認識している。スピード感を持って取り組む。適切に人員を配置していく。⑤昨年度実施した実証実験などの結果を分析し、地域住民や交通事業者と協議していく。一定の利便があるかどうか、しっかりと見極めて判断する。⑥今後も経営状況や意向の把握に努める。運行への影響等について交通事業者を確認している。

ケミコン跡地の文化複合施設等について問う

議員 ①基本計画に一定規模の広の駐車場や、移転するか決定しない東青梅市民センターなどをどのように位置付けるか。大型児童センターについて、子どもを含む市民や専門性を有した人財の意見を反映すべきでは。②ことも計画策定のための調査結果と作成スケジュールは。ことも基本条例の市の考えは。③公共ホール等使用料助成事業を拡充すべきでは。施設建設には、市民の声を聴きながら、丁寧にかつスピーディーに進めたい。④教育長 ①基本的な構想について整備基本計画において明らかにし、実効性のあるものにしていく。ワークショップや子育て支援団体にヒアリングを実施し、対話をしながら進めていく。②助成制度利用の推移について注視していく。機会を捉えた意見聴取を行いながら、スピード感を持って取り組んでいく。③現在集計・分析中であり、計画は令和6年度に策定する。条例の制定を考えている。



持続可能な公共交通の構築について問う
議員 ①グリーンスクリーンモビリティを板の多い青梅市に導入するならば、安全性確保のためシートベルトの設置や、箱型の車両の検討が必要と考えられる。②DXに積極的な市長が、人工知能を使わない「でまん乗合タクシー」をあえて導入する理由は。

議員 ①グリーンスクリーンモビリティを板の多い青梅市に導入するならば、安全性確保のためシートベルトの設置や、箱型の車両の検討が必要と考えられる。②DXに積極的な市長が、人工知能を使わない「でまん乗合タクシー」をあえて導入する理由は。③「でまん乗合タクシー」の利用資格について。④人工知能を使うデマンドバスの導入の予定はあるか。市長 ①最高時速20km未満の車両であるため、道路運送車両法により、窓ガラスがないことや、シートベルトを装着しなくても公道走行が認められていることから、安全性の問題はないものと捉えている。②DX戦略とは色々な手法があり、その時々に見合った技術を使えばよいと考える。③先駆的に実施している前橋市の事例を参考に、検討中である。④今後、MaaSなどの先進的な事例を参考に、デジタル化の活用による運行サービスの向上を実現していく。

既存公共施設のZEB化に向けて

議員 ①市庁舎の改修が計画されているが、ヒートポンプエアコン、熱交換換気システムの導入で省エネを図ってはどうか。②美術館の改修工事は、ZEB Readyを目指した改修が含まれているのか。③市全体の公共施設のゼブラ化によるZEB化計画をたてる予定はあるか。市長 ①建設時に導入している。②今後、既存施設の大規模改修時には、カーボンニュートラルの実現に向け、新たな技術等を取り入れていくこととしており、ZEB化を目的とした計画を策定する予定はない。教育長 ②ZEB Readyを目指した改修ではない。

青梅市内のPFOS汚染について問う

議員 ①成木川のPFOS汚染について、市の見解は。②採石場跡地に搬入された残土とPFOSの関係について、東京都へ報告しているか。③令和4年度調査における、市内井戸のPFOS汚染について、市の見解は。市内の河川、地下水のPFOS汚染調査の予定は。市長 ①PFOS、PFOAを対象とした水質調査を市が行った。国の暫定目標値を下回っており、人体や環境に影響を及ぼす状態であるとは考えていない。②採石場の残土との因果関係は不明であり、東京都への報告は行っていない。③井戸の調査では、国の暫定目標値を下回っていた。飲み水等に利用する井戸の衛生管理は、東京都西多摩保健所が所管している。市では、現行調査の継続によりその結果を注視していく。※他の質問：「学校給食費無償化について問う」について、始まった多摩地域の給食費無償化について、細かなことには違いができることである。便座クリーナーは、設置費用や管理経費等の課題があり、現時点で設置の予定はない。④持続可能な観光については、訪問客と観光関連事業者、地域住民の参加が必要である。市民などで構成する懇談会で議論をいただきながら進めていく。⑤基本的な引き継ぎ、必要に応じて見直しや変更等、柔軟な対応も図っていく。公約に掲げた全ての政策を着実に推進していく。



施政方針演説について問う
議員 ①約13万人の人財との連携、協力とは。市議会議員も市のセールスマンとして、各方面とのパイプを作っていく。②健康寿命日本一を目指すとプロジェクト、取組は。③心地の良い、気持ちの良い、市職員の対応は。市役所トイレの便座クリーナーの設置は。④「三方良しの観光を目指して」の考え、方策について。⑤前市長の施政運営を継承していくと捉えてよい。大勢市長としてのカラーは、新年度にどのように活かされていくのか。4年間の任期への市長の思いは。市長 ①様々な方々との対話により御意見を伺い、各分野で活躍していただく方を講演や教育活動等での費用を図る。市議会議員も重要な人財であり、本市の積極的なセールズ活動を行っていただく。②職員によるワーキンググループを設置し、研究する。健康管理アプリの活用や、市民が自ら主体的に健康づくりに取り組んでいただける事業も推進する。③清潔感があり、親切丁寧で



被災者ファーストの防災計画を
一筆字地盤の支援活動について問う
議員 ①水害の確保の充実改善は。②トイレ設置のマニュアルは。③避難所の開設について。④通学路にあるブロック塀の改修補助について。⑤ボランティアセンター設置訓練について。⑥東京とどまるマンション普及促進事業の推進について。⑦避難所開設などの学校との連携について。市長 ①備蓄、応急給水栓等を活用し、断水時は車載用タンクで運搬する。②避難所運営マニュアルを点検し、設置時期等を見直ししていく。③迅速な避難所開設のため、鍵の収納ボックス等検討する。④危険なブロック塀については、所有者に制度を案内していく。⑤社会福祉協議会、青年会議所と合同で実施する予定である。



議員 ①水害の確保の充実改善は。②トイレ設置のマニュアルは。③避難所の開設について。④通学路にあるブロック塀の改修補助について。⑤ボランティアセンター設置訓練について。⑥東京とどまるマンション普及促進事業の推進について。⑦避難所開設などの学校との連携について。市長 ①備蓄、応急給水栓等を活用し、断水時は車載用タンクで運搬する。②避難所運営マニュアルを点検し、設置時期等を見直ししていく。③迅速な避難所開設のため、鍵の収納ボックス等検討する。④危険なブロック塀については、所有者に制度を案内していく。⑤社会福祉協議会、青年会議所と合同で実施する予定である。⑥在宅避難の備えや、各種補助事業等の周知に努めていく。⑦更なる連携を図っていく。教育長 ⑦市長部局と連携し、有事の際には全面的に協力する。⑧持続可能な観光については、訪問客と観光関連事業者、地域住民の参加が必要である。市民などで構成する懇談会で議論をいただきながら進めていく。⑨基本的な引き継ぎ、必要に応じて見直しや変更等、柔軟な対応も図っていく。公約に掲げた全ての政策を着実に推進していく。

高齢者に寄り添った施策を

議員 ①市管住宅の高齢者等の住み替えの検討について。②居住者支援協議会の設置は。③粗大ごみ運び出しサービスの課題は。④ダンボール回収方法の改善は。⑤敬老会、高齢者温泉保養施設利用助成のあり方について。⑥高齢者の会場使用料の支援は。⑦市営住宅の空家の解消に向けた家賃の減額について。⑧利用率等を考慮した使用料の設定は。市長 ①要綱を設置し基準を設けた。令和6年度以降募集された。②設置に向け取り組んでいく。③制度の認知度や満足度が高まるよう努めていく。④収集日の増加は検討中である。排出方法は、改善の必要性がある。⑤様々な課題があることから、今後、見直しの検討を進めていく。⑥高齢者の健康増進や介護予防等のために効果的な事業の在り方について検討を進めていく。⑦規定がないため、難しい。⑧今後、研究していく。



施政方針について問う
議員 ①家庭における省エネギ推進に向けた取組は。②ポータル市との姉妹都市提携の周年に向けた準備。市長の渡独は。③消防団の課題への取組は。④学校給食費無償化は、都の補助がなくとも、持続できるのか。⑤モーターポート競走事業に対する取組、意気込みを。⑥不登校を生まな学校教育活動の充実について。市長 ①省エネルギー住宅改修補助金を創設、新たに、創エネルギー対策への支援も実施する予定である。②記念事業の実施に向け準備を進めている。令和6年度は、使節団のおもてなしに注力する。③団員の確保は、他市の事例も参考にに取り組んでいく。負担軽減等について、団本部と協議を重ね、環境の整備に努めていく。④子育て支援の観点から、財源を確保し、こともまんなか応援基金も活用しつつ継続していく。⑤積極的な関係団体へポータル市多摩川をアピールし、高グレード競走の誘致に取り組む。教育長 ⑥「学校が楽しい」学校に行きたい、という気持ちを持てなくともなるよう、環境整備を含め、強い決意を持って取り組んでいく。

女性活躍社会の推進について問う

議員 ①女性活躍推進法施行後の市としての取組について。②ACジャパンのCMのように「気付けば」に重点を置いての啓発活動は有効であるか。③女性活躍推進の義務は。市長 ①女性活躍推進事業として、ワークライフバランスの講座を実施するほか、女性リーダーのスキルアップや女性社員のキャリアアップのためのセミナー等を実施した。②研修を通じて、仕事と家庭の両立や、ジェンダー平等について理解を深めている。③今後の参考にしていきたい。④市として、女性が能力を発揮できる社会の実現を目指すことと、事業主として、ワークライフ・バランスの推進、次世代の育成女性の活躍等を支援し、生き生きと働くことができる職場環境を整えていくことである。



審議された議案と陳情の議決結果

◆賛否が分かれた議案◆

【○…賛成 ×…反対】

区分	議案 番号	議 案 件 名	議決 結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	賛 成	反 対		
				山 野 芳 則 自 民	山 田 紀 和 自 民	寺 島 和 成 自 民	茂 木 亮 輔 維 新	井 上 た か し 共 産	ぬ の や 和 代 立 憲	み ね ぎ 拓 実 共 産	藤 野 ひ ろ え 共 産	目 黒 え り 市 庁	山 崎 善 信 市 庁	片 谷 洋 夫 市 庁	長 谷 川 真 弓 公 明	山 崎 哲 男 自 民	阿 部 悦 樹 自 民	迫 田 晃 樹 自 民	山 田 敬 夫 自 民	島 崎 実 自 民	山 崎 勝 自 民	鴨 居 た か す 自 民	久 保 富 弘 自 民	湖 城 宣 子 公 明	山 内 公 美 子 公 明	鴻 井 伸 二 公 明	野 島 資 雄 公 明				
2月定例議会	市長提出	議 90	令和6年度青梅市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	20	3	
		議 91	令和6年度青梅市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	20	3
		議 92	令和6年度青梅市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	20	3
		議 94	令和6年度青梅市モーターボート競走事業会計予算	可決	○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	20	3
		議 114	青梅市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	19	4
		議 116	青梅市介護保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	20	3
		議 117	青梅市指定居宅介護支援等の事業の人員および運営に関する基準を定める 条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	20	3
		議 119	青梅市営住宅条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	20	3
	議 120	青梅市高齢者住宅条例を廃止する条例	可決	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19	4		
	議員提出	議員 2	厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書	可決	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18	5	
陳 情	陳 5-9	憲法に緊急事態事項を付加することに反対するよう国に求める陳情 (※不採択との委員長報告に対しての表決結果)	不採択	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19	4	
	陳 5-10	離婚後共同親権を導入することについて慎重な審議を国に求める陳情 (※不採択との委員長報告に対しての表決結果)	不採択	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19	4	
	陳 5-11	コミュニティバスの運行を求める陳情 (※不採択との委員長報告に対しての表決結果)	不採択	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19	4	

◆全会一致で可決または同意された議案◆

区分	議案番号	議案件名
1月臨時議会	市長提出 議88	令和5年度青梅市一般会計補正予算(第8号)

区分	議案番号	議案件名	議案番号	議案件名
2月定例会議会	議89	令和6年度青梅市一般会計予算	議110	青梅市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
	議93	令和6年度青梅市下水道事業会計予算	議111	青梅市議会議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例
	議95	令和6年度青梅市病院事業会計予算	議112	青梅市災害対策基金条例の一部を改正する条例
	議96	令和5年度青梅市一般会計補正予算(第9号)	議113	青梅市新型コロナウイルス対策助け合い基金条例の一部を改正する条例
	議97	令和5年度青梅市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	議115	青梅市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
	議98	令和5年度青梅市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	議118	青梅市融資資金利子補給条例の臨時特例に関する条例の一部を改正する条例
	議99	令和5年度青梅市介護保険特別会計補正予算(第3号)	議121	青梅市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例
	議100	令和5年度青梅市下水道事業会計補正予算(第3号)	議122	地方自治法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例
	議101	令和5年度青梅市モーターボート競走事業会計補正予算(第2号)	議123	東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約
	議102	令和5年度青梅市病院事業会計補正予算(第2号)	議124～128	市道路線の廃止について
	議103	青梅市病院事業会計における資本剰余金の処分について	議129～132	市道路線の認定について
	議104	青梅市立総合病院の建て替えに関する基本計画の変更について	議133	青梅市表彰条例にもとづく表彰の執行について
	議105	青梅市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律にもとづく個人番号の利用および特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	議134～136	青梅市固定資産評価審査委員会委員の選任について
	議106	青梅市職規定数条例の一部を改正する条例	議137	青梅市子どもまななか応援基金条例
	議107	昭和天皇の崩御に伴う職員の懲戒免除等に関する条例を廃止する条例	議138	令和5年度青梅市一般会計補正予算(第10号)
	議108	青梅市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	議139	青梅市市税条例の一部を改正する条例
	議109	青梅市会計年度任用職員の報酬、費用弁償および期末手当に関する条例の一部を改正する条例	議140	令和6年度青梅市一般会計補正予算(第1号)
委員会提出	委1	青梅市議会会議規則の一部を改正する規則		

◆全会一致で趣旨採択となった陳情◆

区分	議案番号	議案件名
2月定例会議会	陳情 陳5-12	青梅市立内小、中学校で発生したいじめ重大事態調査報告書による提言を受けて青梅市のいじめ対策に関する陳情

※会派の表示は次のとおりです。[自民…自民クラブ(無所属6人、自民党5人)、公明…公明党(5人)、市フ…市民フォーラム青梅・都民ファーストの会(無所属1人、都民ファーストの会2人)、共産…日本共産党青梅市議団(3人)、立憲…立憲民主党(1人)、維新…日本維新の会(1人)]

※氏名の上の番号は、議席番号です。

※議長は表決には加わりません。

※議88…議案第88号 議員2…議員提出議案第2号 委1…委員会提出議案第1号 陳5-9…陳情第5第9号

◆5月招集議会会議予定◆

月日(曜日)	時間	会議	備考
5月16日(木)	午前10時	本会議	会期決定等

◆6月定例会議会会議予定◆

月日(曜日)	時間	会議	備考
6月13日(木)	午前10時	本会議	議案審議 一般質問
6月14日(金)	午前10時	本会議	一般質問
6月17日(月)	午前10時	本会議	一般質問
6月18日(火)		常任委員会	
6月19日(水)		常任委員会	
6月21日(金)	午前10時	予算決算委員会	
		全員協議会	
6月26日(水)	午前10時	本会議	委員会審査報告等

○会議予定は、変更になる場合がありますので、お問い合わせいただくか、青梅市議会ホームページで確認ください。

※傍聴のお問い合わせ：議会事務局庶務係(内線2202)

○本会議の様子は、インターネットでライブ・録画中継しており、パソコンのほか、スマートフォンやタブレットでもご覧いただけます。



【市長提出事項】
(3月4日)
■姉妹都市ボツバルト市からの青少年友好親善使節団の受入れについて
■令和6年度組織改正について
■青梅市公共施設等総合管理計画の改訂について
■令和6年度国民健康保険税の課税限度額等の見直しおよび後

【全員協議会から】
(2月20日)
■既存施設移転・解体スケジュールについて
■市民意見聴取について
■青梅市議会の議決すべき事件に関する条例の一部改正について
■足立区への行政視察について
(3月4日)
■青梅市議会の議決すべき事件等に関する条例の一部改正について
■特定事件の継続調査について
■閉会中の委員派遣議決の件

【文化複合施設整備特別委員会】
(2月20日)
■議案審査 議案第104号
(3月4日)
■特定事件の継続調査について
■閉会中の委員派遣議決の件

【特別委員会から】
(2月20日)
■総合病院建替特別委員会
(3月4日)
■議案審査 議案第104号
(3月4日)
■特定事件の継続調査について
■閉会中の委員派遣議決の件

【委員会提出議案】
■青梅市議会会議規則等の一部を改正する規則(施行日：公布の日)
■一般質問の質問方法の見直しを行うもの。
※詳細は青梅市議会ホームページに掲載。

【議員提出事項】
■東京都十一市競輪事業組合議会議員の選出について
■令和6年度税制改正の主な内容について